

令和2年度第1回伊勢市市民公益活動促進委員会 議事録

日 時：令和2年7月31日（金）午前10時00分～12時00分

場 所：伊勢市役所 東館4-3会議室

出席委員：

委員長 池山 敦 氏（皇学館大学 教育開発センター准教授）

副委員長 藤岡 喜美子 氏（公益社団法人 日本サードセクター経営者協会
東海支部長）

秋山 則子 氏（NPO法人三重みなみ子どもネットワーク 理事長）

川北 輝 氏（津市市民活動センター センター長
NPO法人津市NPOサポートセンター 理事長）

阿竹 美幸（伊勢市環境生活部 市民交流課 主幹兼地域自治
推進係長）

【いせ市民活動センター指定管理者】

特定非営利活動法人 いせコンビニネット

増川 尚男（事務局長）

西川 恒夫（いせ市民活動センター長）

浦田 宗昭（いせ市民活動センター企画部長）

【事務局】

木村 扶美夫（市民交流課 課長）

上村 静香（市民交流課 市民交流係長）

鈴木 健太（市民交流課 市民交流係）

1. 委員長、副委員長の選任について

- ・委員に変更があったため、自己紹介の後、委員長、副委員長について選任を行った。
- ・選任にあたっては、事務局より提案を行い、出席委員全員の賛成により次のとおり決定した。

委員長 皇学館大学 教育開発センター准教授 池山 敦 氏

副委員長 公益社団法人 日本サードセクター経営者協会 東海支部長
藤岡 喜美子 氏

2. 協議事項

(1) いせ市民活動センターの概要

- ・別紙資料に基づき事務局から説明。

【質疑応答】

※(委) = 委員 (指) = 指定管理者 (市) = 伊勢市

(委) 指定管理は、基本何年となっているのか？

(市) 3年から4年となっており、基本何年という形はない。

そのような中、今年度からの第6期については、いせ市民活動センターの移転という特殊事情により、2年という指定管理期間となっている。

(2) 令和元年度のいせ市民活動センターの管理運営状況及び意見交換について

- ・別紙資料に基づき指定管理者から説明。

【意見交換】

(委) 参考として、津市市民活動センターの稼働率を聞きたい。

(委) 県内で最も利用率が高い、津市市民活動センターでは、概ね70%の稼働率となっている。

(委) 新規団体の参加率は、どのような状況か？

(指) 新規登録団体が5団体ある中、100%の参加ではないが、積極的に参加をしてもらっている状況。

(委) 登録団体交流会は、毎年同じ団体の出席となっていないか？

(指) 概ね参加者全体の3分の2は同じ団体となっており、3分の1が新規団体となっている。

(委) ① パルティ通信、広報いせは何を伝えるために発行しているのか？

② チラシコンテストでまちづくり協議会が応募するチラシの内容は、どのようなものか？

③ 相談事業の法人化に関する相談は、どのような形態が多かったか。

また、社会貢献的な相談は、どのような内容のものか？

(指) ① 各団体の紹介やイベントの結果報告を中心的に伝えるために発行している。

② イベントの案内チラシの内容が多い状況。

③ 昨年度に限っては、全て NPO 法人設立等の相談であった。

過去には、財団法人や一般社団法人等の相談もあった。

社会貢献事業の相談については、接着剤の製造をしている会社がグレーチングの隙間を碎石で埋めることで、ゴミが溜まらずまた、視覚障がいの方への妨げにならないというような製品の相談があった。但し、企業の事情により、現在、この話は進んでいない。

(委) 企業からの社会貢献的な相談の内容はどのようなものか？

(指) 100 周年を迎える企業が、様々な川をきれいにするという事業の相談があったが、日程が合わず、実施には至らなかった。

(委) 助成金についての相談の結果、実際に助成を受けられた団体はあるか？

(指) こちらにある情報の限りでは、受けられた団体はない。

(委) 施設の修繕以外での運営に関する課題はあるか？

(指) 登録団体の高齢化が進んでいることが課題である。

そのため、若年層を巻き込んだ活動運営を現在行っており、引き続き実施していきたいと考えている。

また、直近の課題として、新型コロナウイルスの影響が心配されるため、関連の団体への様々な支援を考えていきたい。

(委) 新型コロナウイルス感染防止対策物品を貸し出したり、WEB 会議に必要な機器を貸し出す等、検討してはどうか？

(指) 現在、消毒液を活動団体へ提供している他、三重県市民活動ボランティアセンターより集音器（スピーカーフォン）が提供されたため、貸出を行っている。今後、フェイスシールドの販売や、WEB 会議用の物品貸出等を検討していく。

以上